

# CNALレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 12 No.20 2010年10月31日号

編集:[editor@cnar.jp](mailto:editor@cnar.jp) 広告:[pr@cnar.jp](mailto:pr@cnar.jp) 読者登録:<http://cnar.jp>

Copyright 2010 CNA Report Japan. All rights reserved.

## 製品・サービス動向-国内

### TKP が NEC と連携し、テレプレゼンス会議サービスを開始

株式会社ティーケーピー（東京都中央区、以下 TKP）は、日本電気株式会社（東京都港区、以下 NEC）と連携し、テレプレゼンス会議サービスを10月15日から開始すると発表。（10月6日）

TKP と NEC は、テレプレゼンス会議サービスを、東京大手町と大阪梅田の2ヶ所のTKP拠点で、10月15日から開始。



テレプレゼンス会議サービス 利用イメージ（TKP 資料）

このテレプレゼンス会議サービスは、NEC の映像・音声データのネットワーク配信技術に加え、回線については、NTT コミュニケーションズが提供する閉域ネットワークサービス「Group-Ether」、また、会議室内の什器については、コクヨファニチャー株式会社（大阪市東成区）が製造する遠隔会議用家具「TRANSET」を使用する。

会議室内の環境については、スピーカーシステムを組み込んだサービス専用機と電子黒板機能を TKP 貸し会議室の設備として提供する。

サービスを利用するにあたっての費用については、1回3時間の利用で42,000円から（会議室料、機器使用料、回線

料を含む）。

TKP は、このテレプレゼンス会議サービスを提供することで、法人企業の会議出張費用の削減だけでなく、時間の有効活用に大きく貢献すると考える。また通常の会議に加え、パンデミック対策など法人企業の非常事態における事業継続対策としても有効という。TKP は、今後全国のTKP 会議室にサービスを展開し、初年度1千万円、3年後1億円の売上を目指す。

TKP は、日本全国主要駅5分圏内に立地した約500室、31,000席以上の会議室運営をおこなっており、定員4名の小会議室から390名収容可能な大ホールまでの会場を提供している。延べ6万社の法人企業に利用されており、内閣府行政刷新会議の事業仕訳の会場提供も行っている。

NEC は、これまでNGNに対応したハイビジョンテレビ会議室システムの販売実績があり、その実績を活かし、この度テレプレゼンス会議システムの構築に至った。今後は、テレプレゼンスシステムへのNEC独自の音声認識技術による議事録自動作成機能の追加や海外展開などを視野にいたった機能強化をおこなっていくという。

コクヨファニチャーでは、働き方の多様化にあわせて、それぞれの空間に最適なオフィスファニチャーを自社だけに留まらず、さまざまなパートナーとのコラボレーションを通して開発していくという。

### ブイキューブ、タッチパネル型PCとWeb会議がセットになったオールインワンモデルを発表

株式会社ブイキューブ（東京都目黒区）は、タッチパネル型PCとWeb会議がセットになったオールインワンモデルの「V-CUBE センター」を11月初旬に発売すると発表。

(10月13日)



### V-CUBE センター (VCUBE 資料)

V-CUBE センターのコンセプトは、タッチパネルで誰でも簡単に使える Web 会議。特長は、電源を入れるだけで利用が可能で、タッチパネル操作で Web 会議が行える点。



### 役員会議に



### 会議室の据え置き PC に

V-CUBE センターで Web 会議を行う場合、相手も V-CUBE センターである必要はなく、V-CUBE センターを持っていない第三者 PC を招待することも可能だ。

想定利用シーンとしては、据え置きすることもできるため、役員会議に活用できる他、企業での各種研修、あるいは、

たとえば、ホワイトボードに関しても、タッチパネルであるためタブレットのようにフリーハンドで書き込める便利さがある。

また V-CUBE センターは、オールインワンの専用 PC で持ち運びができる。そのため、会議室、自席、研修会場など、場所を選ばず利用が可能。さらには、専用 PC のためセキュリティ性も高いという。

V-CUBE センターで Web



### 企業研修に



### 商業施設

学習塾での授業にも活用できるという。さらには、商業施設などでの案内板としても使え、用途に応じて様々な利用ができると同社では説明する。

V-CUBE センターは、オープン価格。V-CUBE センターにプリインストールされている V-CUBE ミーティングの初期費用および2年間の利用料はバンドルされている。

今回 V-CUBE センターに使用されているタッチパネル一体型 PC は、レノボ社の「Lenovo M90Z」、そしてマイクは、サンワサプライ株式会社（岡山県岡山市）の「MM-MCUSB16」。また、オプションで、ヤマハ株式会社（静岡県浜松市）の「PJP-20UR」を提供する。

次年度は、300 社の導入と、3 億円の売上を見込んでい

### 沖電気の Visual Nexus バージョン 4.2 発表、 レクチャーモード、高音質対応、H.239 データ共有に H.264 を追加

沖電気工業株式会社（東京都港区）は、ビデオ会議システム「Visual Nexus ver4.2」の販売を 9 月 30 日より開始した。

今回の機能強化では、以下の機能を追加した。

(1)「レクチャーモード」の追加。講師と受講生に対して、それぞれ異なるレイアウトの画面を配信し、講師は、複数拠点の受講生の様子を見ながら講義（レクチャー）を行い、受講生は、講師の映像のみを見ながら受講することができる。

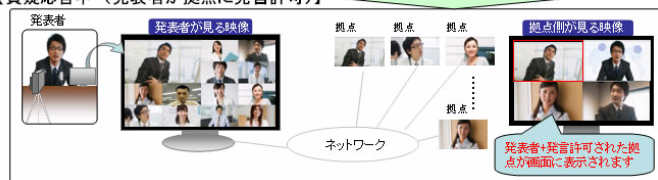
また講師は、講義中に Web ベースの管理画面（Visual Nexus Online）上で受講生への発言許可を与えることがで

き、受講生の見ている画面が自動的に講師と指定された受講生の映像に切り替わる。その際に、受講生が Visual Nexus 専用の PC クライアントを使用している場合、画面上の「挙手」ボタンをクリックすることで発言要求を行うことができる。さらには、講師は、複数の受講生に同時に発言許可をあたえることもでき、さきほどと同じように、受講生は講師と発言許可をされた受講生の映像を見ながら質疑応答のやり取りに参加することができる。

【プレゼンテーション中(発表者のみ発言可)】



【質疑応答中(発表者が拠点に発言許可)】



#### 機能追加概要 (沖電気工業資料)

(2) 高音質への対応。音声符号化方式である MPEG-4 AAC-LC と G.722.1C を Visual Nexus の多地点接続サーバ「Visual Nexus Meeting Server」に搭載した。いずれも 50Hz から 14kHz の音声符号に対応し、CD の音声に相当する音質を実現する。MPEG-4 AAC はソニーやライフサイズのビデオ会議専用端末、G.722.1C は、ポリコムやライフサイズのビデオ会議専用端末にそれぞれ搭載されており、Visual Nexus とビデオ会議専用端末との相互接続性が強化された。一方、Visual Nexus 専用 PC クライアント「Visual Nexus Endpoint」については、今後今回発表された音声符号化方式への対応を予定しているという。

(3) データ共有方式として H.264 を追加。今回のバージョンでデータ共有方式の H.239 で使用する映像符号化方式に H.264 が Visual Nexus Meeting Server に追加された。H.239 はビデオ会議専用端末とのデータ共有の標準規格。HD 対応のビデオ会議専用端末では、共有対象のデータを映像に変換する映像符号化方式として高精細の資料共有

が可能な H.264 が用いられるのが一般的になってきたという。そのため今回の H.264 を追加した。なお、Visual Nexus Endpoint については、今後対応する予定。

HD 対応システム構成価格(サーバ+クライアント)は、10 拠点への導入で 463 万円(税別)から。販売目標は、年間 3,000 拠点ライセンスを目指す。

### 日本 IBM、IBM Lotus 1.3 の機能拡張を発表、Web 会議機能では、MacOS での資料共有をサポート

日本 IBM 株式会社(東京都中央区)は、企業向けコラボレーション機能をパブリッククラウドサービスにて提供する「IBM Lotus 1.3」を発表した。(10月6日)

IBM Lotus 1.3 では新たに複数の機能を拡張した。

(1)「LotusLive Connections」に「コミュニティー機能」を追加。LotusLive Connections は、プロフィールやコンタクト先管理、タスク管理、ファイル共有などを含むソーシャルネットワークに対応したコラボレーションサービス。今回コミュニティー機能を追加することで、特定のテーマ、興味を持つメンバーを、社内に限定せずに集めることができ、情報の共有や意見交換、あるいは協同作業を行うことが可能になった。

(2)メールやカレンダー機能を提供する「LotusLive iNotes」では、Web メール上での複数のファイルの一括添付や、メンバー間で共有するカレンダーを作成して予定共有ができるようになった。

(3)Web 会議機能を提供する「LotusLive Meetings」と「LotusLive Events」では、MacOS 上での画面共有機能をサポートした。LotusLive Events は、大規模なセミナー開催機能を提供している。

その他、パスワードの有効期限設定などの管理者向けの機能追加や、対応言語を 21 カ国語に拡大するなど「LotusLive ファミリー」全体で複数の機能が強化された。

LotusLive Connections、LotusLive Meetings、LotusLive Events の新機能は、これらを統合したサービス



である「LotusLive Engage」においても拡張されている。

価格については、以下の通り。(1)IBM LotusLive Connections V1.3: 10,300 円/年から(1 名あたり、5 ギガバイトのストレージ容量。このライセンスのユーザからのゲスト・ユーザの招待は無制限。ゲスト・ユーザは、25 メガバイトのストレージ容量。)

(2)IBM LotusLive Meetings V1.3: 67,000 円/年から。(15 名用オンライン会議室 1 部屋)、(3)IBM LotusLive iNotes V1.3: 5,150 円/年から(1 名あたり、25 ギガバイトのメール容量)、(4)IBM LotusLive Engage V1.3: 13,800 円/年から(1 名あたり、5 ギガバイトのストレージ容量、200 名用のオンライン会議。このライセンスのユーザからのゲスト・ユーザの招待を社外に限定した場合のライセンス。ゲスト・ユーザは 25 メガバイトのストレージ容量。)

## ビジネス動向-国内

### シャープ、テレビ会議・Web 会議サービスをクラウドで提供する新会社設立

シャープ株式会社(大阪市阿倍野区)は、法人向けテレオフィスのソリューション事業を中心とした新会社「iDeep ソリューションズ株式会社」を設立したと発表。営業は、10 月 1 日から開始。(9 月 29 日)

国内外の企業でのテレビ会議や Web 会議の導入が進んでいることからこの新会社を設立。この iDeep ソリューションズでは、テレビ会議と Web 会議をトータルでサポートする独自システム「TeleOffice(テレオフィス)」を、クラウドサービスを通じて提供する。

TeleOffice では、タブレットパソコン上での会議資料の共有や、表示内容の拡大や縮小、あるいは、ペンによる書き込みなどができるタッチパネル付き大型ディスプレイを使った会議サービスを提供するようだ。同社のシステムを使うことで会議の準備から運営までを一元化することができ、トータルコストの大幅な削減が可能という。

新会社は、設立が 9 月 1 日。シャープ株式会社の完全子会社(100%)。資本金は、4 億 5000 万円。従業員数は、約 50

名。テレオフィスのソリューション事業に関するソフト、ハードの販売、保守サービス、コンサルティング業務。

### エイネットの FreshVoice が海外販路開拓支援事業対象品に認定、アジア諸国への展開を推進、また、新しいコーポレートロゴを採用

エイネット株式会社(東京都千代田区)の主力製品であるテレビ会議システム「FreshVoice(フレッシュボイス)」が、(財)東京都中小企業振興公社の審査を通過し、「海外販路開拓支援事業」の支援対象製品として認定されたと発表した。(9 月 28 日)

この海外販路開拓支援事業とは、国内における販売実績をもち、世界に通じる可能性がある都内中小企業の開発製品を対象とし、「海外販路ナビゲータ」の方々がハンズオン支援を行いながら、専門商社等へのマッチングを行い、そのネットワークを活用しながら、製品を海外市場につなげていく事業。

今回の認定を受けて、エイネットでは、認定に基づく支援を受けながら、中国、シンガポール、タイなどのアジア諸国へ進出する考え。これにより、2011 年度の海外事業の売上は、3 億円を見込んでいるという。



一方で、同社では、海外事業における

エイネットの新しいロゴ(エイネット資料)は、マーケティングの強化と企業ブランドイメージの向上の一環として新しいコーポレートロゴを採用した。新しいロゴは、情熱、エネルギーのある「オレンジ」をコーポレートカラーとし、エイネット(anet)の頭文字を抽象的に表現し、先進・先鋭性、そしてネットワークのつながりをイメージしたデザイン。

同社のシステムは、すべて自社開発。2000 社の導入実績を持つ。富士キメラ総研「2010 年ブロードバンドビジネス市場調査総覧(2009 年)」によると 5 年連続国内テレビ

会議市場でシェアNo. 1を獲得したという。国産製品ならではの手厚いサポート体制を大切に、今後は、開発・サポートの向上に努めるという。

## ニューロネットの SaaSBoard 情報化月間推進 会議議長表彰を受賞

ニューロネット株式会社(東京都渋谷区)の提供する Web 会議・Web コラボレーションサービス「SaaSBoard(サーズボード)」は、「情報化月間推進会議」より、10月1日情報化月間推進会議議長表彰を受けたと発表。(10月4日)

情報化月間推進会議は、経済産業省・内閣府・総務省・財務省・文部科学省・国土交通省により編成されるもので、情報化月間とは、昭和47年から毎年10月を情報化月間と定め、情報化に関する広範な行事を開催し、国民各層の情報化に対する理解を深めていく目的で行われている。

この情報化月間の行事の一環として、我が国の情報化の促進に多大に寄与した個人、企業等を経済産業大臣等関係府省が表彰する「情報化促進貢献個人等表彰」を実施しており、情報化のさらなる促進を図るとともに、情報化に対する国民認識と理解の醸成に寄与することを目的としている。

ニューロネットの SaaSBoard は、SNS をベースとした SaaS 型の Web 会議・Web コラボレーションシステム。これまでに 3,000ID の利用実績があるという。

関連記事: Vol.11 No.19 2009/10/15、Vol.12 No.9 2010/5/15、  
Vol.12 No.18 2010/9/30

## 製品・サービス動向-海外

### シスコ、家庭向けのテレプレゼンスシステムを発表

米シスコシステムズは、家庭向けのテレプレゼンスシステム「Cisco Umi(シスコ ユーミー)」を発表した。(10月6日)

Cisco Umi は、HD カメラと、コンソール(コーデックを内蔵した本体)、そしてリモコン(赤外線)からなる。集音用マイクと、着信リングトーン用のスピーカを内蔵する。カメラについ

ては、パン、チルト、ズームに対応し、プライバシー用のシャッターも付いている。これらは手動ではなく、駆動式となっている。



Cisco Umi 使用イメージ(シスコシステムズ資料)



### Cisco Umi コンソールとカメラ、リモコン(シスコシステムズ資料)

Cisco Umi は、1080p と 720p の HD 解像度に対応し、また 720p によるレコーディングにも対応している。加えて、ダイナミック解像度スケーリングによって、帯域の状況に応じて解像度を 1080p、720p、そして 480p と可変させることができる。映像音声の OUT と IN 端子は、HDMI ケーブルを使用する。ネットワーク回線については、10Mbps もしくは 100Mbps のイーサネットと無線 LAN を搭載。Umi のサイトによると、720p 接続には、1.5Mbps、1080p 接続には、

3.5Mbps の帯域を使用するという。

基本的には、umi 同士でビデオ通話を行うが、Google ビデオチャットをインストールし、カメラを接続した PC ともビデオ通話が行えるようになっている。

Umi は、ビデオメッセージにアクセスや、コンタクトリストの作成(プロフィールの作成や編集など)なども行える。ユーザは、umi のビデオを録画することができ、それらのビデオファイルを、Facebook や、Youtube で共有したり、あるいはメール添付したりすることもできる。

この他では、umi のビデオメッセージをノートパソコンで確認したり、ビデオメッセージの着信があると携帯電話に通知することも可能だ。また、プライバシー機能として、着信拒否などや、着信時に相手に表示するビデオグリーティング(video greeting)や、ビデオコールが着信したときの着信音などを個々人の好みに設定することもできる。

販売は北米のみ。10月6日よりumi.cisco.comで仮注文の受付を開始、同月18日からは、bestbuy.comでも開始する。そして11月14日からは、Best Buy や Magnolia Home Theater ストアでの販売を開始する。本体の小売希望価格は、\$599。月額使用料が、\$24.99。月額使用料には、umi による通話(無制限)と、ビデオメッセージング、ビデオストレージが含まれる。また Verizon 社の FiOS ユーザ顧客にも来年1月からサービスを提供開始する。

### Vidyo、H.264/SVC を活用した放送局向けのソリューションを発表

Vidyo 社は、クラウドベースの放送局向けのソリューション「VidyoCast」を発表した。(9月10日)

VidyoCast は、同社の H.264/SVC をベースに開発された、放送局におけるフィールドオペレーションやそれに伴う製作作業に関するキャパシティを向上させるソリューション。既存の放送インフラやワークフローにシームレスに統合できる点が特長で、従来の方法ではコスト的に難しかったことを、簡単にそして低コストで行えるようになり、それによって、放送局にとってコスト的に大きなメリットをもたらすと同社では説

明する。

VidyoCast は、「VidyoContribution」、「VidyoCentral」、「VidyoEncoder/Decoder」、「VidyoNetReturn」、「VidyoTransmission」、「VidyoContinuity」、「VidyoMCR」の製品群から構成される。

### Mirial 社のソフトフォンが 안드로이드 端末に対応

イタリアのソフトフォンベンダーの Mirial 社は、同社の提供するソフトフォンが、안드로이드 端末に対応したと発表。(10月12日)

안드로이드 端末に対応することで、Wi-Fi や 3G、4G などの携帯ネットワークで、안드로이드 端末ユーザ同士、あるいは、H.323 や SIP の標準プロトコルを搭載したビデオ会議システムとも通信が行えるようになる。

안드로이드 端末に対応したクライアントソフトは、同社のクライアントサーバーアーキテクチャを採用した「ClearSea」や、キャリアやサービスプロバイダー向けのアプライアンスサーバー「MCS」製品のオプションとして提供する。

同社は、モバイルビデオ会議市場において成否の鍵を握るのは、相互接続性をサポートしているかどうかであると説く。使用している端末や OS、ネットワークに関係なく、ユーザ同士がお互いに簡単に通信ができる環境を提供することが重要であると考えている。

### ビジネス動向-海外

#### ラドビジョンとマイクロソフト、UC において戦略的パートナーシップを提携、両社製品の相互接続性を強化

ラドビジョンとマイクロソフトは、ユニファイドコミュニケーションにおいて戦略的パートナーシップを提携したと発表。(10月12日)

今回の提携によって、ラドビジョンは、マイクロソフトの「Microsoft Lync」に対応した、ハードウェアとソフトウェア

を組み合わせたソリューションを開発し、両社の製品が相互接続を行えるユニファイドコミュニケーションソリューションを提供する。また、両社が共同でマーケティングや販売戦略を展開していく考えだ。

### ポリコム、新たな経営幹部6人を経営陣に

米ポリコム社は、新たな幹部役員6名を経営陣に迎え入れたことを発表した。と同時に、ビデオ、テレプレゼンス、音声の開発部門を統一した研究開発組織に再編成、さらには、「企業および官公庁」、「サービスプロバイダー」、「中小企業(SMB)」向けに、3つの業種別事業ライン(LOB)の設置も発表した。(10月5日)

今回の背景には、UC市場の急速な成長やSMB市場への同社の期待がある。調査会社のデータもこの可能性を指し示していると力説する。Wainhouse Research社では、北米、欧州、アジア太平洋のマネージド・ホスト型 UC サービス市場は、2014年までに約60億ドルに達すると予想している。また一方で、IDCの報告によると世界のSMBの情報技術(IT)支出は、2014年までに約6,300億ドルまで成長が予想されている。

今回新たに着任した役員は以下の通り。

Joseph Burton: 上級副社長、最高戦略および技術責任者、企業およびサービスプロバイダー担当ジェネラルマネージャー。入社前は、シスコシステムズ社で、ユニファイド・コミュニケーション担当最高技術責任者(CTO)を務める。

Sudhakar Ramakrishna: 上級副社長兼製品担当ジェネラルマネージャー。入社前は、モトローラ社で、コーポレートバイスプレジデント、無線ブロードバンドソリューションおよびソフトウェアオペレーション担当ジェネラルマネージャーを務める。

Susan Hayden: ポリコム SMB 担当取締役副社長兼ジェネラルマネージャー。入社前は、Oracle Direct のセールス担当グループバイスプレジデントを務める。

Alan Rudolph: グローバルサービス担当上級副社長。入社前は、ゼロックス傘下の Affiliated Computer Services(ACS)

で、アプリケーション管理およびコンサルティング担当上級副社長を務める。

Gary Rider: 欧州・中東・アフリカ(EMEA)担当社長。入社前は、NCR社の欧州グローバルセールス&マーケティング担当副社長。

Ashley Goldsmith: 人事担当上級副社長。入社前は、F. Hoffmann-La Roche に在籍し、病理検査ビジネス部門の人事担当上級副社長。

また、ポリコムは、今回の人事発表に合わせて、前ビデオソリューション担当上級副社長兼ジェネラルマネージャーの Joe Sigrist の退社を発表した。

ヤマハのマイクスピーカー、イタリアの Mirial 社ミリアル・ソフトフォン・プログラムに対応  
イタリアのソフトフォンベンダーの Mirial 社の発表によると、ヤマハ株式会社(静岡県浜松市)の販売する USB 対



応マイクスピーカー「PJP-20UR」と「PJP-10UR」が Mirial 社のソフトフォンに対応した。(9月29日)



Mirial 社のソフトフォンは、PCと

MacOSに対応し、フルHDの映像と内蔵MCU、そして暗号機能を実装している。また、H.323やSIPにも対応し、これらの標準プロトコルに対応したビデオ会議システムとのシームレスな通信も可能という。

Mirial社のミリアル・ソフトフォン・プログラムの規定に基づき、厳格なテストを Mirial社とヤマハが実施。

高品質な音質環境を提供することができるという結果を得た。

写真上:PJP-20UR,写真下:PJP-10UR(ヤマハ資料)

## Skype、シスコ社シニアバイスプレジデントの Tony Bates 氏を Skype 社の CEO に任命

Skype 社は、シスコ社シニアバイスプレジデントの Tony Bates 氏を Skype 社の CEO 兼ボードメンバーに任命したと発表。(10月4日)

Tony Bates 氏は、シスコのエンタープライズ、コマース & スモールビジネス部門のジェネラルマネージャー。年商 2000 億ドル、12,500 人の社員を指揮し、CEO である John Chambers 氏が直属の上司。シスコの、ボーダレスネットワーク、データセンター、コラボレーションとして知られたエンタープライズアーキテクチャの立役者の一人。また国際戦略の策定の他、シスコ開発評議会 (Cisco Development Council)、ビデオ評議会 (Video Council)、エンタープライズビジネス評議会 (Enterprise Business Council) の責任者のひとりでもあった。

加えて、シスコの、年商 10 億ドル規模のサービスプロバイダーグループのジェネラルマネージャーとしても務め、本人は9つの特許を持ち、インターネットテクノロジー関連の専門家としても知られる。

さらには、Youtube や、オンラインビデオ会議サービス「TokBox」、ボイスベースのメッセージングおよびブログサービスを提供する「BubbleMotion」、オンラインビデオストリーミング & レンタルサービスを提供する「LoveFilm」などのボードメンバーの経験もある。

Tony Mates 氏は、10月末にSkypeに入社。その間、CFOの Adrian Dillon 氏が暫定的に CEO に就任する。

## Vidyo とアドビ社、Adobe Connect から Vidyo の HD ビデオを実現

Vidyo 社とアドビ システムズ社は、アドビシステムズ社の Web 会議システム「Adobe Connect」のセッションの中で、Vidyo 社の HD 対応のビデオ会議を開始することができるブレイクアウトを発表した。(10月6日)10月中旬開催の 2010 EDUCAUSE (米国カリフォルニア州アナハイム) で両社のブースにてデモンストレーションを予定となっている。

アドビシステムズ社にとって、Adobe Connect は、eラーニング & コラボレーションソリューションの中核となるソフトウェア。今回 Vidyo 社の提供する API を基に、Vidyo ソリューションと Adobe Connect との間で相互連携を実現した。

両社の製品の相互連携を実現することで、高品質な映像を簡単な操作で教育機関などのユーザが利用できるという。

この API は、両社からインテグレーターに提供されており、今後も、両社は、双方の製品間の相互連携のために力を入れていく考えだ。

## 導入・利用事例

### 日本 IBM、NPO 法人 3 団体を対象に、「IBM LotusLive」を無償提供

日本 IBM 株式会社 (東京都中央区) は、NPO 法人 3 団体を対象に、「IBM LotusLive」を 2011 年 12 月末まで無償で提供すると発表した。(10月14日)

今回対象となる NPO は、「国境なき子どもたち」、「ピースウィンズ・ジャパン」、「チャリティ・プラットフォーム」の 3 団体。NPO 法人では、職員の他に多数のボランティア参加者が活動しており、人材の出入りが多いことに加え、本部と、海外の支援現場が離れているため、関係者同士のコミュニケーションや情報共有が難しいという課題があり、また、同様の活動をおこなっている団体や協力企業との間での安全で確実な情報連携や協同作業の効率化も課題になっていた。その上、専門の IT 管理者がいないということもあり、IT 製品やサービスを有効に活用できないという問題もあった。

そこで今回日本 IBM は、3 団体に合計 70 ユーザ分のライセンスを提供し、日本 IBM のボランティア社員が各団体のユーザ登録および使用方法の研修を行う。加えて、LotusLive を活用したより効果的な協同作業の方法を継続的にアドバイスしていく。LotusLive の Web 会議やディスカッション機能等を活用してネットワーク経由で支援することが可能という。



## セミナー・展示会情報

### < 国内 >

株式会社シード・プランニング主催  
 コラボレーション時代の Web 会議フォーラム  
 ビジネスの発展とマネジメントのための「Web 会議」活用と  
 は？

日時:2010年11月12日(金)

展示:11:30~18:30

講演/パネルディスカッション:13:00~17:50

費用:講演参加費 5,000円(税込) 展示会のみ参加 無料

会場:TEPIA ホール

主催:株式会社シード・プランニング

### 講演・パネルディスカッションスケジュール

#### 【特別講演】

「映像コラボレーションと経営革新」

講師:日本大学商学部大学院 商学研究科教授  
 児玉 充氏

#### 【講演】

「北米の Web 会議システム活用事例とその効果」

講師:テレスパン・パブリッシング CEO  
 エリオット・ゴールド氏

※ Web 会議システムによる講演(逐次通訳)

#### 【講演】

「Web 会議ビジネスの最新市場動向と新しい流れ」

講師:株式会社シード・プランニング 主任研究員  
 原 健二  
 関連レポート:テレビ会議/Web 会議の最新市場動向 2010  
 (書籍版/PDF版)

#### 【講演】

Web 会議システム ユーザー企業様による講演 数社

#### 【講演】

Web 会議サービス事業者様による講演 数社

#### 【Web 会議 ユーザ企業様 パネルディスカッション】

モデレーター

日本大学商学部大学院 商学研究科教授  
 児玉 充氏

### 講演・出展予定企業

エイネット/NTT アイティ/沖電気ネットワークインテグレーション  
 /木村情報技術/ジャパンメディアシステム/スリーエー/日本  
 アイ・ビー・エム/ニューロネット/パイオニアソリューションズ/  
 パナソニック ソリューションテクノロジー/日立製作所/Visual  
 Link Laboratory /Vidyo 社/ブイキューブ/ヤマハ ほか

詳細・申込:

<http://www.seedplanning.co.jp/forum/other/20101112web-conference/index.html>

### < 国内 >

会議の効率化を実現!『ConforMeeting 無料体験セミナー』定期開催

日程:11月10日(水)、17日(水)、24日(水)

※全ての日程で13:30~14:30、15:30~16:30の2回開催

会場:NEC 情報システムズ 本社(東京都港区)

主催:NEC、NEC 情報システムズ

詳細・申込:

<http://www.nec-nis.co.jp/topics/event/conformeeeting/seminar.html>

### 実践! ビジュアルコミュニケーションの最新活用セミナー

日時:11月18日(木)大阪、11月26日(金)東京

会場:大阪:TKP 大阪淀屋橋カンファレンスセンター

東京:TKP 大手町カンファレンスセンター

主催:VTV ジャパン株式会社

詳細・内容:<http://www.vtv.co.jp/seminar/1011vtv/index.html>

\*東京のセミナーでは、シード・プランニングの原健二氏が市場動向を講演されますが、大阪セミナーでは、CNA レポート・ジャパンの橋本が市場動向を講演させていただきますことになりました。

### ユニファイド・コミュニケーション体験会

日時:11月18日(木) 14:00~16:00

会場:日本アバイア内 セミナールーム(東京都港区赤坂)

主催:日本アバイア株式会社

詳細・申込:<http://www3.avaya.com/jp/events/uc/index.asp>

### 躍進する中国ビジネス

日中間コミュニケーションで企業力UP!

日時:11月19日(金)14:30~(受付開始 14:00~)

会場:大塚商会 ITソリューションセンター(大阪市)

主催:株式会社大塚商会

協力:株式会社ブイキューブ/ポリコムジャパン株式会社

詳細・申込:<http://event.otsuka-shokai.co.jp/10/1119bb/>

クラウドコンピューティング時代における劇的経費削減の方法実際のクラウド利用方法:ワークスタイル革新で劇的経費削減と推進力増強

日時:11月24日(金)13:30~17:00(13:00 開場/受付開始)

会場:渋谷区商工会館 第2会議室

主催:ニューロネット株式会社、ライド株式会社

詳細・申込:<http://www.neuronet.co.jp/eventSeminar.html>

### < 海外 >

Delivering on the Promise of Unified Communications

日時:10:00AM - 11:00AM (November 9) (Singapore)

会場:オンラインセミナー(グローバルウェブキャスト)

主催:米ポリコム

詳細・申込:

<http://www.polycom.asia/company/events/webcast-miller-burt-on.html?id=miller-webcast&link=event-jp>

### 編集後記

今回もお読み頂きまして有り難うございました。(橋本)